

上智大学数学談話会のお知らせ

日時： 2014年10月17日（金曜）17:30-18:30

場所： 市ヶ谷本館201室

講演者： 津村 博文 氏 (首都大学東京 理工学研究科)

講演題目： 多重ゼータ関数の最近の話題 – 特異点解消と p 進類似 –

アブストラクト： この20年で多重ゼータ値の研究はいろいろな分野と関連しつつ、大きく発展した。そのindexを複素変数に変えた多変数の多重ゼータ関数についても、この10年余りの間に研究が進んだが、負の整数点の多くが特異点となるために、代数的考察や数論への応用面での研究の障害となっていた。本講演では、多重ゼータ関数の特異点を全て解消して、負の整数点での値を自然に定義し、その性質について述べる。これはいわばベルヌイ数の多重化に対応するもので、ベルヌイ数の性質を引き継いでいるものと見られる。さらにその観点から、多重ゼータ関数の p 進類似にあたるものを構成する。これは Kubota-Leopoldt の p 進ゼータ・ L 関数の多重化と見られ、特にその正の整数点での値を、 p 進多重ポリログを用いて記述する。これは1重の場合の Coleman の結果を含み、その多重化と見られるものである。講演では、得られた結果についてなるべく平易に解説することを目的とする。尚、これらの結果は古庄英和氏、小森靖氏、松本耕二氏との共同研究によるものである。